

## 特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会設立趣旨書

### 1 趣 旨

21世紀に向けて我が国が目指している「科学技術創造立国」を実現するためには、バイオテクノロジーを始めとする生物系先端技術等の研究開発の推進、とりわけ産学官連携による研究開発の推進が急務となっている。

また、東海地域においては、農林水産業が盛んであり、さらに、大消費地を有することから食品産業及び関連産業が発展しており、これら産業の一層の発展による調和ある地域社会の展開と地域経済の活性化が望まれている。

このような中で、特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会は、生物系先端技術に関する産学官の研究開発を推進・支援するとともに、産学官の連携・交流を促進することによって、科学技術の振興と農林水産業、食品産業及び関連産業の発展、地域経済の活性化、地域社会への貢献を図り、もって我が国の経済社会の発展に寄与することを目的とする。

### 2 申請に至るまでの経過

東海地域生物系先端技術研究会は、生物系先端技術等に関する情報の提供等を通じて、先端技術の研究開発の促進、農林水産業及び食品産業の発展に寄与することを目的として、平成3年1月に任意団体として発足し、情報誌の発行、セミナー・講演会・シンポジウムの開催、技術研修会の実施等積極的に活動を展開してきた。

しかし、社会・経済情勢の変化に伴い、これらに対応した活動の活性化、魅力ある企画運営が求められてきたことから、この研究会にワーキンググループを設けるなどして、研究会のあり方を検討してきた。そのような中で、平成15年7月にアンケート調査を実施したところ、情報提供の充実に加え、産学官連携の共同研究に対する支援・調整、産学官のビジネス産業の創出等のニーズがあることが明らかになった。

このようなニーズに対応するためには、これまでの情報提供活動に加えて、新たにコーディネート機能を付与した活動を展開すること等を通じて産学官連携活動の活性化を図ることが必要との認識が高まった。

このため、本研究会が特定非営利活動法人格を取得することによって、組織基盤の強化を図り、公的助成金・委託費や競争的資金の獲得の環境を整備し、情報提供活動に加えてコーディネーター設置等による産学官連携に係る諸活動を展開することとした。

平成16年10月25日

特定非営利活動法人東海地域生物系先端技術研究会  
設立代表者 氏名 松田 幹 印